

■高山英華 都市工学者。戦後の都市計画行政を主導，都市工学科創設して人材養成の基盤をつくった。

たかやまえいか

韓国併合・・・1910＝ 東京芝で生まれる。

明治天皇没・1912＝ 2歳：

ロシア革命・1917＝ 7歳：戸山尋常小学校に入学。

ベルサイユ条約・1919＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝11歳：

関東大震災・1923＝13歳；卒業し，東京高等師範学校付属中学校に入学。

共産党事件・1928＝18歳：卒業し，成蹊高等学校理科甲類に入学。

満州事変・・・1931＝21歳：卒業し，__東京帝国大学工学部建築学科に入学。

国際連盟脱退1933＝23歳：{日本文化工作連盟}と対峙すべく，西山卯三らと{青年建築クラブ}を結成。

帝人疑獄事件1934＝24歳：卒業して，助手になる。

芥川直木賞始1935＝25歳：市川市野戦重砲兵第1連隊第3中隊に入り，

二二六事件・1936＝26歳：除隊して，復職。岸田日出刀らと共同で「外国に於ける住宅敷地割類例集」出版。

日中戦争始・1937＝27歳：

健保+総動員 1938＝28歳：__東京帝国大学助教授，満州に出張し，諸都市の調査計画。
直後に再び応召，

日米開戦・・・1941＝31歳：復職。臨時召集で，野戦砲兵第17連隊に入り，満州新京に配置され，
・・・1942＝32歳：除隊。

創価学会検挙1943＝33歳：千葉県稲毛に設置された東京帝国大学第二工学部に移籍し，企画院の動員計画等に従事。

敗戦・・・1945＝35歳：敗戦後，__内田祥文らと{国土会}を結成し，各地の復興計画に従事，

新憲法公布・1946＝36歳：

新憲法施行・1947＝37歳：*{国土会}と戦後結成された建築諸団体を統合した新日本建築家集団(NAU)の初代中央委員長。

三大事件・・・1949＝39歳：__第2工学部教授に就任。工学博士。住宅対策審議会委員。

独立回復・・・1951＝41歳：__以後，国の審議会や委員会の委員，

テレビ放送始・1953＝43歳：工学部教授に配置転換。

55年体制始・1955＝45歳：

以後，新産業都市計画，

美智子妃・・・1959＝49歳：八郎潟干拓事業企画委員会委員。オリンピック東京大会施設委員会委員となって，

安保闘争・・・1960＝50歳：

全国総合計画1962＝52歳：__都市工学科の新設に尽力し，
ヨーロッパに出張。*新設された東大工学部都市工学科の学科主任となる。

この間，吉祥寺駅周辺再開発計画案をまとめる。

東京オリンピック 1964＝54歳：__東京オリンピックの施設整備のまとめ役，八郎潟干拓新農村建設計画，高蔵寺ニュータウン計画，
大学紛争始・1965＝55歳：以後2年間，__日本建築学会会長。

いざなぎ景気1966＝56歳：ヨーロッパに出張。__大阪万博会場計画委員。(筑波)研究学園都市開発基本計画。

美濃部都知事1967＝57歳：中華民国(台湾)に出張。__高蔵寺ニュータウン計画が石川賞。

霞ヶ関ビル・ 1968＝58歳：ヨーロッパに出張，

全共闘ピーク・ 1969＝59歳：公害対策マスタープラン，

大阪万博・・・1970＝60歳：__万博の各施設計画でもまとめ役も果たしすなど，戦後の都市計画の主要局面にかかわる。

ドルショック・・・ 1971＝61歳：*退官して，名誉教授。

石油ショック1973＝63歳：ベルト状の白髭地区防災拠点再開発計画，

田中角栄逮捕1976＝66歳：__都市計画中央審議会会長。

この間，東京都臨海副都心計画，

成田衝突・・・1978＝68歳：__日本建築学会大賞。(財)日本地域開発センター理事長に就任。

革新大敗北・1979＝69歳：(財)都市防災研究所会長，

・・・1981＝71歳：__日本建築学会創立100周年記念事業組織委員会委員長。工学院大学理事長に就任。

中曽根内閣・1982＝72歳：

ジャンボ機墜落1985＝75歳：再開発コーディネーター協会会長，

ソ連崩壊・・・1991＝81歳：

55年体制終・1993＝83歳：森記念財団会長など，__諸審議会委員や諸委員会委員長をつとめ続けて，

石原都知事・1999＝89歳：__没した。

(都市計画学会)喜寿記念年譜ほか，